

訪問看護師という職業をご存知でしょうか。

患者さんの自宅へ定期的に訪問して 状態観察や必要な医療行為を行なう看護師です。訪問の依頼は、主治医、ケアマネージャー、患者さん本人、家族からといろいろな場合がありますが、訪問には必ず主治医からの訪問看護指示書が必要です。訪問看護は主治医の指示のもとに訪問し、状態を主治医に報告、また異常があるときは、新たな指示をもらい対処をします。自宅で点滴や、酸素吸入、吸引などの医療行為を行なうこともあります。

最近、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）愛称『人生会議』の話題をよく耳にします。もしものとき、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療、ケアチームと繰り返し話し合い、共有していく取り組みのことです。実際、訪問中に患者さんから「病院のベッドで寝たきりで過ごしたくない、管に縛られたくない、自宅の畳の上で死にたい。」という言葉をよく聞いていました。



訪問看護師をしていたときは、多くの患者さんのお看取りのお手伝いをしました。最初は入浴などの生活の支援で訪問しているうちに徐々に食事が入らなくなって、それでも家での生活を望まれご自宅で最期を迎えられたということもありました。寝たきりになってからは、訪問看護の仕事はたくさんあります。身体をきれいにしたり、少しでも食べられるものを薦めたり、床ずれにならないように気をつけたりと、主治医、歯科医師、薬剤師、ヘルパー、ケアマネージャー、など多くの職種の人と連携を取りながら患者さんと家族を支えています。

在宅で最期を迎えたいと考えている人は多いと思います。訪問看護師は、主治医との架け橋でもあります。是非、訪問看護を利用してみてください。

令和4年11月

菊池市 菊池郡市医師会 訪問看護ステーション

元 管理者(看護師) 中田 政美

次は歯科医師の三隅 寛 先生にリレーします。